

静岡市立美和小学校

出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和5年6月22日（木）

「勉強している縄文時代や弥生時代の土器に触れて、理解と興味が深まりました。」

美和小学校6年部の中野先生が、歴史学習の一環として出前授業を計画し、6年生8人が石器の試し切り、土器の分類、火起こしの3つの体験活動を行いました。弥生時代まで学習したところで、ちょうどよいタイミングでした。

石器の試し切り体験

よく切れてびっくり！



金属がない時代に穴を掘ったり、木を切り倒したりするために石器があることを知り、本物を見て驚嘆の声が上がりました。その後、獲物を切るための黒曜石を見て、実際に切れるのか試しました。紙や野菜が切れてビックリしました！



土器の分類体験



発掘された土器片を3つに分けてみました。完形土器と比べて、分ける理由をいろいろ考えながら縄文土器、弥生土器、須恵器を分類しました。弥生土器と須恵器の分類には苦戦してしまいました。



火起こし体験

弥生土器は、東京の弥生町で発見されたからそう命名されたって、昨日先生から教わりました。

もみきり法、弓きり法、舞きり法などの火起こしの方法を説明した後、舞きり法で火起こしをしました。一人ではちょっと苦労しましたが、二人で力を合わせて弾み車を上手に回し、火種を作り火を起こすことができました。



先生の感想

「実物に触れて考えたり、実際にやってみることは、児童の学びにとっても有効であると感じました。丁寧な解説でとても分かりやすかったです。職業としての調査についての話も勉強になりました。また来年もお願いしたいです。」

